

スクーリング手続日程

令和6年度よりスクーリングの手続期間が変更になりました。

スクーリング名称	スクーリング開始月（※）	スクーリング受講手続期間	受講料振込申請通知	受講料振込期間	受講許可日
前期スクーリング	6月	5/1(水)～ 14(火)	5/21(火)	5/22(水)～ 26(日)	5/27(月)
	7月	6/1(土)～ 10(月)	6/17(月)	6/18(火)～ 23(日)	6/24(月)
	8月	未定			
	9月				
後期スクーリング	11月				
12月					
1月					
2月					
3月					

※スクーリング開講が2か月にまたがる場合は、授業初日の月を基準としてください。

例) 6/29～7/1 の3日間の授業の場合、スクーリング受講手続期間は5/1～5/14です。

※8月以降のスクーリングの受講手続期間については、決まり次第案内いたします。

スクーリング受講手続期間以降は受講料の支払額の変更や返金はありません。

ご注意ください。

スクーリング日程表の見方

①スクーリング 名称と開講No.	夏期スクーリング【開講No. 0001】	
	1年次担当科目	3年次担当科目
②開講授業名	スポーツ研究-1	マネジメント研究-2
③選択科目別	(選択科目・1単位)	(共通専門科目・1単位)
④単位数		
⑤履修コード	【2001】	【2102】

(※表内の番号等は架空のものです。)

①スクーリング名称と開講 No.

スクーリングの開講期ごとに名称を表記しています。

開講 No.は、開講期（スクーリング名称）ごとに設定されているコード番号です。

②開講授業名

スクーリングで実施する授業名のことです。スクーリングには、科目の面接単位数を分けて複数回実施する授業が多数あります。上記例の「スポーツ研究-1」「マネジメント研究-2」ように、科目名の後ろに数字を表記しています。この場合、基本的には「-1」→「-2」の順に受講してください。

③必須科目、選択必須科目、選択科目の別

各科目の必須区分について「(選択必須科目)」「(選択科目)」のみ記載しています。

④単位数の表記

各スクーリング受講により修得できる単位数を表記しています。

複数の開講受講で構成されている科目の場合、その科目の構成授業が全て合格してはじめて単位認定となります。上記例でいえば「スポーツ研究-1」（1単位）の合格だけでは単位認定とはならず、「スポーツ研究-2」（1単位）も合格してはじめて「スポーツ研究」（2単位）が認定されます。

⑤履修コード

開講授業ごとに個別で設定されているコード番号です。スクーリング受講の際は、この番号をスクーリング日程表で確認のうえ、受講手続きを行ってください。（履修登録時の科目コードとは異なります）

⑥科目区分

- ・専門科目以外の総合教育・共通専門・資格課程科目別は、開講授業名の下に記載しています。
- ・総合教育科目「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「スポーツ研究」「レポートの書き方」については、文芸学科の「英語Ⅰ・Ⅱ」「レポートの書き方」を除き選択科目として設定されています。

●スクーリング受講要件

科目によってはスクーリングを受講するための条件として、課題の提出や別授業の履修などの受講要件が設定されています。各科目の要件の有無、提出期日、内容を確認のうえ、スクーリング受講に臨んでください。

●注意事項

スクーリング受講要件一覧の表中の提出期日はスクーリング受講要件課題の最終提出期日です。今期中に履修科目を修得するには、スクーリングの合格だけではなく、科目の構成要素（報告課題、最終課題、スクーリング）をすべて合格しなければなりません。